

栃木県土木史

70年史(平成9年～平成28年)

栃 木 県



発刊を記念して

栃木県知事 福田 富一

栃木県土木史（70年史）が発刊されるに当たり、一言御挨拶申し上げます。
終戦後の昭和21年に土木部（現 県土整備部）が発足して以来、70年が経過しました。

この間、私たちが暮らす社会は、人口減少・超高齢社会の到来、急速な経済のグローバル化、さらには、県民の価値観が多様化するなど、大きく変化してきました。

そして、東日本大震災、熊本地震、頻発するゲリラ豪雨、度重なる台風の襲来などを契機とした災害に強い社会基盤づくりや、快適・便利で暮らしやすく、環境にもやさしい持続可能な都市構造（エココンパクトシティ）の形成など、社会が求めるインフラも変化してきました。

栃木県県土整備部においては、今日まで県土の発展、成長を支える道路や河川などの重要な社会インフラの整備・管理を着実に担い、本県経済の発展や人々の交流などを支えて参りました。

その結果、内閣府の県民経済計算で平成25年度の県民所得が全国5位になるなど、大きな飛躍を遂げています。

今日の私たちの暮らしは、先人たちのたゆまぬ努力の上に築かれたものであり、今を生きる私たちには、これまで以上に豊かで安心して暮らせる社会をつくり上げ、次の世代にしっかりと引き継いでいく責務があります。

そのためには、時代の潮流を的確に捉え、社会の求めるインフラの整備、管理を着実に推進していく必要があります。

栃木県では、栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」に基づき、ハード・ソフト両面からの防災・減災対策、社会資本等の老朽化対策等の推進による災害に強い「とちぎ」づくり、持続可能で誰もが暮らしやすいコンパクトな「まち」づくり等に取り組んでいるところです。

今後とも、栃木県の将来像である「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”」の実現に向けて全力で取り組んで参りますので、土木行政に携わる関係者をはじめとする皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます、挨拶といたします。



土木史発刊に寄せて

栃木県県土整備部長 印南 洋之

「栃木県土木史―土木行政 50 年の歩み―」を取りまとめてから 20 年が経過したことを節目に、このたび「栃木県土木史（70 年史）」を編纂し、発刊することとなりました。

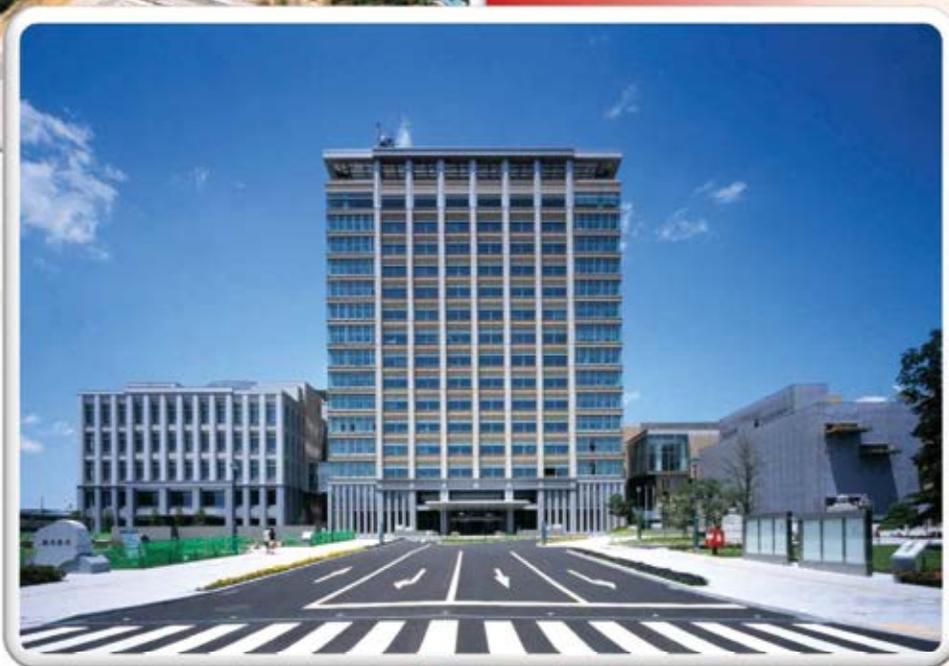
この 20 年間に振り返りますと、社会経済情勢のめまぐるしい変化の中で、社会資本整備の進め方についても大きな転換を図った時代であったと思います。

長引く景気低迷などによる財政の悪化で、公共事業費は大幅に削減され、世論では「公共事業不要論」などが台頭し、大変厳しい環境の中での事業推進を余儀なくされました。しかし、これらのことがあって、事業の実施に際しては、優先度を十分に検証するとともに、事業評価やコスト縮減など効率・効果的な事業執行を図り、事業の成果や見通しを広く公表することで、より多くの県民理解のもとに事業を推進することとなりました。また、米ミネソタ州の高速道路橋の落橋事故や我が国の笹子トンネル天井板崩落事故など社会資本の老朽化は深刻な社会問題となり、これにより、緻密な点検が義務づけられるとともに、事後保全から予防保全へと転換を図る長寿命化対策を進めていくこととなりました。さらに、那須水害、東日本大震災、関東東北豪雨と未曾有の災害を経験し、改めて防災対策の重要性を認識するとともに、警戒避難のためのソフト対策の充実や計画規模を上回る災害でも被害を最小限にとどめるための減災対策など、災害に強い県土づくりをなお一層推進していくこととなりました。

そして今、急速に少子高齢化が進行する中で、地方創生の実現に向けて、それに資する社会資本ストックの形成が急務となっております。本史が、そのための羅針盤となり、多くの困難な課題を乗り越えてきた先人達の偉業を手がかりに、人口減少問題を克服し、将来にわたり地域の活力を維持増進していくための新たな県土づくりが力強く推進されていくことを期待してやみません。

結びに、本史編纂に携わった関係各位のご労苦に心から敬意を表しますとともに、本史が建設関係者に広く活用され、建設行政に関わる皆様のますますのご活躍を祈念いたしまして、発刊の挨拶といたします。

写真で見る栃木県土木史 20年



平成9年(1997年)



H9.10
(国)294号 烏山
バイパス開通
(那須烏山市)



H9.11
(主)大沢宇都宮線 鞍掛
トンネル開通
(日光市,宇都宮市)



H9.11
道の駅「にのみや」供用
(真岡市)



H10.1 旧青木周蔵
邸復元工事竣工
(那須塩原市)



H10.4
道の駅「明治の森・黒磯」供用
(那須塩原市)



H10.6 (一)鹿沼環状線 武子・栃窪工区開通
(鹿沼市)



余笹川
上川地区



黒川 大塩橋



余笹川 高津橋

平成10年8月豪雨
那須水害(那須町外)

平成 11 年(1999 年)



H11.7 梅雨前線豪雨 小貝川出水時
(市貝町)



H11.9 (都) 益子南通り開通
(益子町)



H11.9 道の駅「ばとう」供用
(那珂川町)



H11.11 (国)293 号 矢又工区(伴睦峠高架橋)
開通(那珂川町)



H11.9
県北産業技術専門校竣工
(那須町)



H12.2 主要地方道宇都宮
栃木線 惣社今井バイパス
開通(壬生町,栃木市)



H12.10 道の駅「東山道伊
王野」供用(那須町)



H12.6 日光田母沢御用邸記念
公園修復・復元工事竣工
(日光市)



H12.9 とちぎわんぱく公園開園
(壬生町)



H12.9
第17回全国都市緑化とちぎフェア開幕
(壬生町、宇都宮市)



H12.7 旧イタリア大使館夏季別荘改修工事
竣工(日光市)

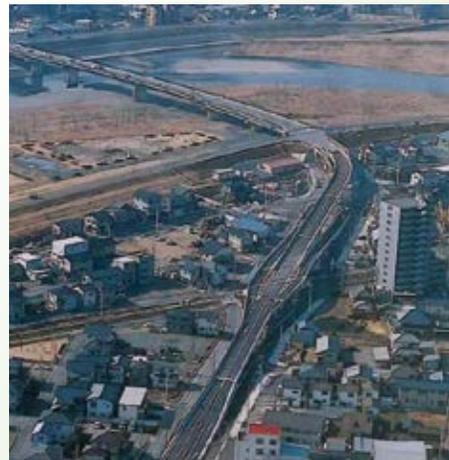


H12.10 三河沢ダム定礎式
(日光市)

平成13年(2001年)



H13.3 (主)宇都宮烏山線 神長工区(神長トンネル)開通(那須烏山市)



H13.3 (都)毛野西新井線 緑橋跨線橋完成(足利市)



H13.3 余笹川災害復旧事業竣工(那須町)



H13.5 ながわ水遊園竣工(大田原市)



H13.6 道の駅「きつれがわ」供用(さくら市)



H13.11 道の駅
「どまんなかたぬま」供用
(佐野市)



H14.9 中禅寺湖畔ボートハウス竣工
(日光市)



H14.12 産業技術センター竣工
(宇都宮市)



H14.4 道の駅「はが」供用
(芳賀町)



H14.10 栃木県下水道資源化工場供用開始
(宇都宮市)



H14.10 黒川、四ッ川災害復旧助成事業竣工(那須町黒川)

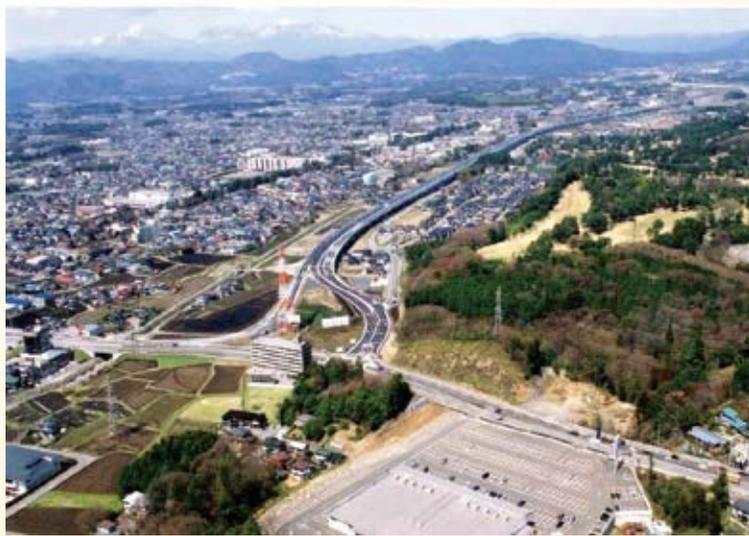
平成 15 年(2003 年)



H15.3 小貝川災害復旧助成事業完了
(市貝町)



H15.2 (国)294号
八木岡バイパス開通(真岡市)



H15.3 (国)119号
宇都宮北道路開通
(宇都宮市)



H15.4 栃木駅周辺連続立体交差事業
JR 両毛線高架供用開始(栃木市)



H15.10 日光田母沢御用邸記念公園
全面開園(日光市)



H16.2 (主)宇都宮烏山線 仁井田バイパス
(仁井田高架橋)開通(高根沢町・那須烏山市)



H16.3 (主)矢板那須線 乙畑工区(乙畑跨
道橋)開通(矢板市)



H16.2
のざわ特別支援学
校竣工
(宇都宮市)



H16.2 道の駅「那須与一の郷」供用
(大田原市)



H16.2 「那須野が原博物館」開館
(那須塩原市)

平成 17 年(2005 年)



H17.4 日光だいや川公園
「だいや体験館」オープン(日光市)



H17.4 日光七里大橋が完成、(都)大谷川
右岸線と(都)瀬川森友線が全線完成(日光市)



H17.5
旧県庁舎本館移築
(曳家)工事竣工
(宇都宮市)



H17.8 (一)飛駒足利線 名草下バイパス
(名草下町・菅田町工区)開通(足利市)



H17.11 (国)408号 常総・宇都宮東部連絡道路
真岡バイパス開通(真岡市)



H18.4 道の駅「みかも」供用
(佐野市)



H18.4 道の駅「思川」供用
(小山市)



H18.8
道の駅「湯西川」供用
(日光市)



H18.8
(都)古峯原宮通り
(下田町工区)完成
(鹿沼市)



H18.11
百村川床上浸水対策特別緊急事業竣工
(大田原市)

平成 19 年(2007 年)



H19.3 (国)294 号
稲沢・寒井バイパス開通
(大田原市、那須町)



H19.3 (都)樋ノ口
河合線完成
(栃木市)



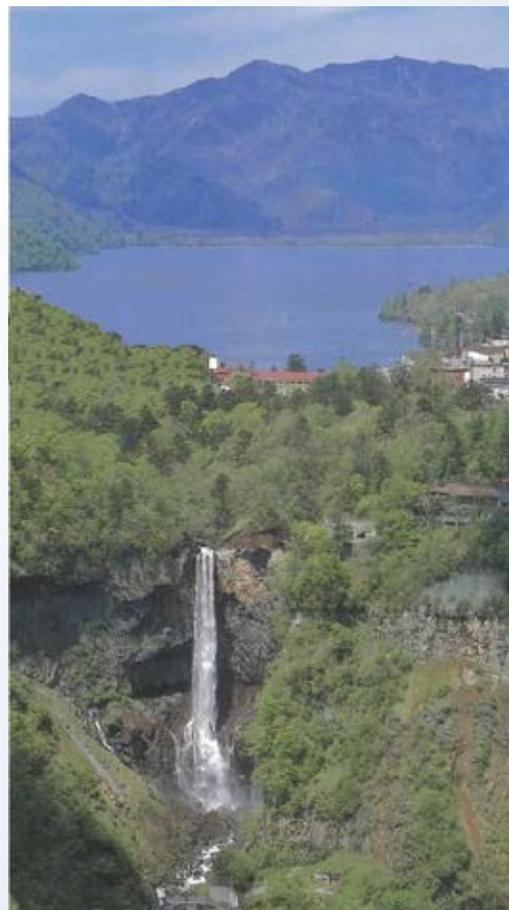
H19.5 思川改修に伴う JR
両毛線第一思川橋梁の改築完了(小山市)



H19.11 県庁舎本館竣工
(宇都宮市)



H20.2
県土防災センター(本館13階)運用開始
(宇都宮市)



H20.3 華嚴の滝山腹崩壊防止工事竣工
(日光市)



H20.3 (国)119号 宇都宮環状北道路
関堀陸橋開通(宇都宮市)



H20.3 (主)宇都宮向田線 平出・板戸工
区(板戸大橋)開通(宇都宮市)



H20.10 県南家畜保健衛生所竣工
(栃木市)

平成 21 年(2009 年)



H21.3 高速自動車国道東北縦貫自動車道 黒磯板室インターチェンジ開通(那須塩原市)



H21.3 (国)400号 大田原西那須野バイパス(JR 跨線橋工区)開通(那須塩原市)



H21.10 道の駅「みぶ」供用(壬生町)



H21.11 道の駅「にしかた」供用(栃木市)



H21.6 (都)黒磯那須北線上厚崎地区のバイパス完成(那須塩原市)



H21.12 那須塩原警察署竣工(那須塩原市)



H22.2
(一)雀宮真岡線
宮岡橋開通
(上三川町、真岡市)



H22.2
農業試験場いちご研究所研究棟竣工
(栃木市)



H22.3
(都)黒袴迫間線 若松アンダー 完成
(佐野市)



H22.11
(主)小山環状線
新間中橋開通
(小山市)

平成 23 年(2011 年)



H23.1 (都)間々田北通り
間々田アンダー完成(小山市)



H23.2 宇都宮工業高校新校舎竣工
(宇都宮市)



高根沢町平和台



(国)400号(那須塩原市)

H23.3.11 東日本大震災が発生 県北、県東部で甚大な被害



H23.10 晩翠橋(土木遺産)補
修工事完了 (那須塩原市)



H24.9 (国)400号 下塩原パ
イパス(がま石トンネル)開通
(那須塩原市)



H23.3 道の駅「しもつけ」
(写真上)と「やいた」(写真
下)が供用開始



H24.1 矢板東高校・同附属中学校特別教室棟竣工
(矢板市)



H24.6 道の駅「しおや」(写真上)
と H24.9 道の駅「うつのみや ろま
んちつく村」(写真下)が供用開始



撤去前



撤去後

H24.1 新那珂橋 撤去(東日本大震災被災) (那珂川町)



H24.12 (都)大通り 護国神社前交差点拡幅工事完成
(宇都宮市)

平成 25 年(2013 年)



H25.2 岡本台病院医療観察法棟竣工(宇都宮市)



H25.7 井頭公園「一万人プール」リニューアルオープン(真岡市)



H25.9 寺山ダム ダム ESCO 事業発電開始(矢板市)



H25.12 (国)408号 常総・宇都宮東部連絡道路 真岡～宇都宮バイパス開通(真岡市、宇都宮市)



H25.11 災害関連等緊急砂防事業竣工(さくら市倉ヶ崎)



H26.2 小藪川「100 mm/h 安心プラン」登録



H26.3
元北別館(とちぎTV)耐震その他改修工事竣工
(宇都宮市)



H26.4
道の駅「サシバの里いちかい」供用
(市貝町)

H26.11
日足トンネル
天井板撤去完了
(日光市)



H26.12
(国)119号 宇都宮環状北道路
下川俣陸橋開通
(宇都宮市)

平成 27 年(2015 年)



H27.2
鬼怒川上流流域
下水道(中央
処理区)消化ガ
ス発電開始



H27.4
道の駅
「日光」供用
(日光市)



H27.9.9~10 関東・東北豪雨

(写真左上)黒川(鹿沼市)

(写真右上)鹿沼市日吉

(写真左下)那須塩原市上塩原



H27.9 旧英国大使館別荘建物復元工事竣工
(日光市)



H27.12 (主)矢板那須線
矢板バイパス開通(矢板市)



H28.2
栃木県立特別
支援学校宇都
宮青葉高等学
園竣工
(宇都宮市)



H28.3 主要地方道栃木二宮線 大光寺橋開通
(栃木市,下野市)



H28.10 道の駅「ましこ」供用
(益子町)



H28.4 小薮川「床上浸水対策特別緊急事業」採択